

## イシガレイ稚魚の接岸

### ■大ききのそろったイシガレイ

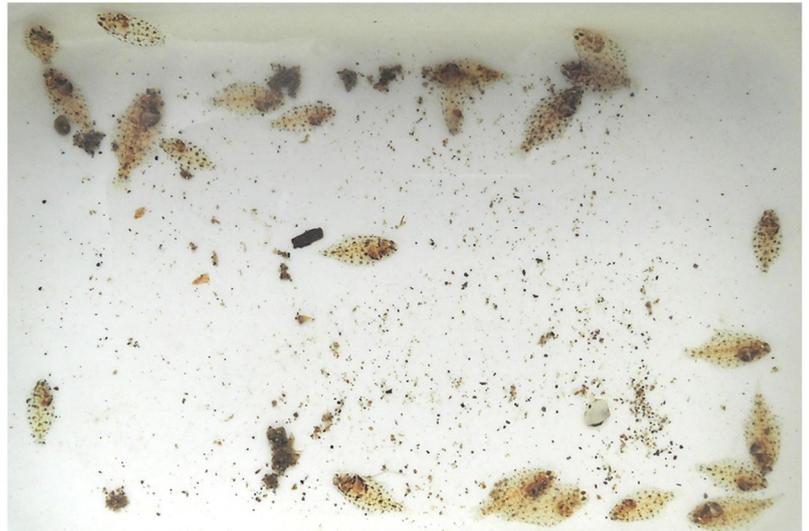
イシガレイの稚魚を、潟湖内・導流堤水門七北田川側・河口で採集した。数はTable.1のとおりで、水門付近の深くなった場所で多く採集できた。これまでの調査と同様、潟湖内の個体は大きい傾向がみられた。水門付近・河口で採集した個体はすべて全長1.5～2.0cm程度で、大きさがそろっていた。これらの個体は、同じ時期に接岸したのではないかと推察される。

全長(cm)	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	平均(cm)	全体平均(cm)
河口(匹)	0	3	0	0	0	2.0	1.8
水門付近(匹)	15	6	0	0	0	1.6	
潟湖内(匹)	0	0	1	1	0	2.8	

(Table.1 イシガレイの全長と採集数)



(Fig.1 水門付近で採集したイシガレイ)



(Fig.2 水門付近で採集したイシガレイ)



(左Fig.3 右Fig.4 水門付近で採集したイシガレイ)  
 Fig.3とFig.4を比較すると、全長が同程度でも、色素の発達に個体差があることがわかる。



(Fig.5 河口で採集したイシガレイ)

(Fig.5 潟湖内で採集したイシガレイ)

(佐藤 賢治)